

bibtex を使用して参考文献を表示する

ER18023 金田 康志

2020 年 12 月 27 日

1 bibtex について

chapter5_bibtex.tex と chapter5_bibtex.tex と reference.bib を照らし合わせて読んでください。

bib ファイルを作成して、そこに参考文献の情報を記述します。ここに記述するデータベースを bibtex と言います。今回は、「reference.bib」という名前にしました。

有名な論文の場合、「論文名 bibtex」と検索すると bibtex がヒットすることが多いです（他に調べる方法や、自分で作成する方法は気になったら調べてください）。例えば、LSTM という論文の情報を「LSTM bibtex」と検索して調べると、<http://www.slashbin.net/bibtexbrowser.php?key=HochSchm97&bib=refs.bib> が一番上にヒットする（2020/12/20 現在の検索結果）と思うので図 1 の箇所を bib ファイルにそのままコピー＆ペーストすれば基本的には OK です。



図 1 bibtex の記述があるサイト例。

LSTM[1] のように，参考文献を参照することが可能です．tex ファイルと bib ファイルの関係性は図 2 のようになります．



図 2 tex ファイルと bib ファイルの対応．

また，bibtex は通常のコンパイルでは，反映されないため「pLaTeX(ptex2pdf)」 「pBibTeX」 「pLaTeX(ptex2pdf)」 「pLaTeX(ptex2pdf)」の順番でコンパイルする必要があります．

VScode で環境構築が完了している場合，「LaTeX Workshop:Build with recipe」を実行するショートカットを入力 「build-and-bibtex」を選択してください．

「2020_12_14.ipynb」の通りに json ファイル，ショートカットキーを設定している場合「alt+b」を入力すると，画面上部に「build」と「build-and-bibtex」が表示されると思うので，「build-and-bibtex」を選択すれば bibtex を参照したコンパイルが可能です．

chrome の拡張機能 bibtex entry from url[2] を使用すれば，web サイトの bibtex 情報も簡単に取得することが可能です．ただし，url を記述する場合は usepackage に hyperref を指定する必要があります．

2 課題

本 chapter は必須の課題のみになっています．

必須 1：author を自分の名前，date を提出日に変更してください．

必須 2:reference.bib に参考文献を追加してください(参考文献は何でも可)．また，cite を使用して「LSTM[1]」の様に参照してください．

編集が完了したら，コンパイルしてください．

VScode で編集している場合 , 「LaTeX Workshop:Build with recipe」を実行するショートカットを入力
「build-and-bibtex」でコンパイル 「ctrl+alt+V」で出力される pdf をプレビューできるので変更点が反映
されていることを確認してください .

今回使用した参考文献

Deep learning[3]

参考文献

- [1] Sepp Hochreiter and Jrgen Schmidhuber. Long short-term memory. *Neural Computation*, Vol. 9, No. 8, pp. 1735–1780, 1997.
- [2] Bibtex entry from url - chrome ウェブストア. <https://chrome.google.com/webstore/detail/bibtex-entry-from-url/mgpmgkhhbjgkpnanlmlhibjfgdpdpgjec>. (Accessed on 12/11/2020).
- [3] Ian J. Goodfellow, Yoshua Bengio, and Aaron Courville. *Deep Learning*. MIT Press, Cambridge, MA, USA, 2016. <http://www.deeplearningbook.org>.